

7月25日厚生委員会における各委員からの主な意見・要望について

1 全体について

- (1) 現状把握型より、ニーズ把握型の調査を実施してほしい。
- (2) 回収率を上げる為、前回調査結果がどのように施策反映されたか示すべきでは。
- (3) 文京区の地域特性を踏まえた調査項目となっているか。
- (4) 性別記載については、配慮を要するのではないか。
- (5) 回答分析にあたっては、文京区の地域特性、文京区の強み、弱みについて議論してほしい。
- (6) 個人のニーズと社会のニーズのバランスをしっかりと取ってほしい。

2 高齢者等実態調査の調査項目について

- (1) 介護離職について、ミドル・シニアにも聞くべきではないか。
- (2) グループインタビューを高齢分野でも実施すべきではないか。
- (3) 認知症関係の回答結果は、しっかりと分析してほしい。
- (4) 質問項目は、地域包括ケアのうち在宅サービスの項目が中心となっていないか。
ニーズによっては、施設サービスへ結びつく可能性も検討するのか。
- (5) 区外施設入所者（住所地特例の方）も対象に設計すべきではないか。
- (6) 経済状況について質問すべきではないか。
- (7) 質問文はわかりやすく、ニーズを適切に汲み取れるよう工夫してほしい。
- (8) 過去調査との比較、都、国調査等との調整を図っているか。
- (9) 質問項目数は、回答者の負担から考慮すると適切な数になっている。

3 障害者（児）実態・意向調査の調査項目について

- (1) 災害部分で、福祉避難所の認知度を聞いたらどうか。
- (2) 精神障害者を対象にグループインタビューを実施できるとよい。
- (3) 差別解消法にかかる条例制定の意向を聞いたらどうか。

4 事業者向け調査（高齢者・障害者共通）について

- (1) 事業者への負担にならないよう、配慮しているか。
- (2) 質問数は適切か。少ないのではないか。
- (3) 災害対策について、しっかり分析してほしい。
- (4) 事業者へは、前回調査結果を渡す等して、現状を把握してもらってから回答してもらったらどうか。
- (5) 事業所（管理監督者）だけでなく、事業所で働く人の調査も行うべきでは。

5 健康に関するニーズ調査の調査項目について

- (1) グループインタビューを実施したらどうか。